

# 第6章

健康でいきいきできるまち



- 本市では平成 25 年 3 月に「新・にしのみや健康づくり 21（第 2 次）西宮市健康増進計画」を策定し、市民一人ひとりの生涯にわたる健康づくりと実り豊かで満足できる生活の質の向上をめざし、5つの重点項目（タバコ対策、メタボリックシンドローム対策、がん対策、自殺対策、介護予防）を定め、取り組んでいます。
- 乳幼児健診受診率は 90%以上の高い受診率ですが、女性の社会進出や核家族化などにより、出産、育児の不安や悩みなどが複雑多様化してきており、更なる総合的支援が求められています。

【乳幼児健診受診率の推移】

単位：%

区分	平成 22 年度	平成 23 年度	平成 24 年度	平成 25 年度	平成 26 年度
4 か月児健診	96.3	97.2	96.4	98.2	97.2
1 歳 6 か月児健診	95.5	97.6	95.3	96.1	96.3
3 歳児健診	91.9	92.0	93.6	91.3	93.6

資料：西宮市保健所

- 平成 25 年度から精神・運動発達状態の確認のための 10 か月児健康診査（個別健診）を実施しています。
- 歯科・口腔の分野では、歯科相談や教室、健康講座等で口腔衛生の意識向上及び噛ミング 30 の普及・啓発を進めています。
- 子どもから高齢者までのライフステージを通じて、こころの健康に関する知識の普及啓発や相談・支援体制の整備などにより「自殺予防対策」の重要な柱として、こころの健康づくりを推進しています。





**【こころの健康】**

- こころのケア相談など相談窓口の周知とともに、精神科医等との連携強化を図り、こころの健康づくりを支援します。

**【医療費適正化】**

- 国民健康保険のレセプトデータを活用し、重複・頻回受診等の該当者に対する指導を引き続き実施します。

## 2 保健・医療に関する情報の発信と普及啓発の強化

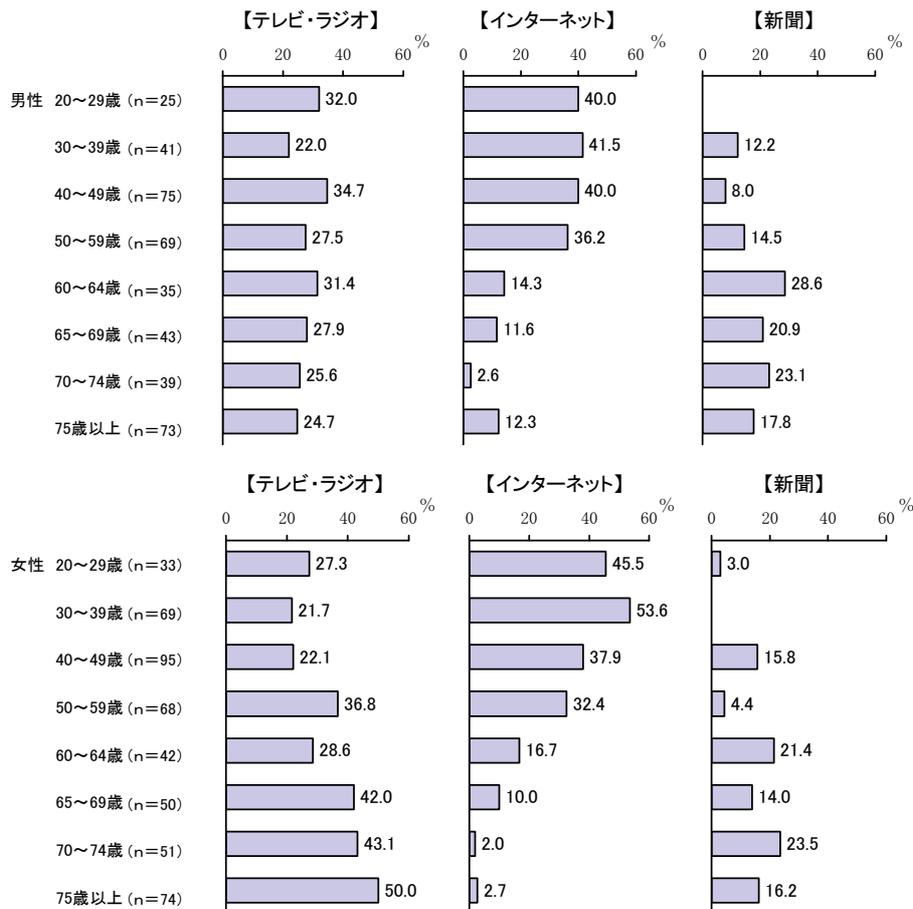
### ① 概要

- 市民に対して、保健・医療に関する情報発信や啓発・広報活動等を行うことにより、市民が生涯を通じた健康づくりや疾病予防・早期発見等に自主的に取り組み、健康でいきいきとした暮らしを維持していくことができる環境づくりをすることが重要です。

### ② 現状

- 市民向けアンケート調査結果によると、病気や医療に関する情報の主な入手手段としては、「テレビ・ラジオ」の割合が約3割と最も高く、次いで「インターネット」の割合が2割半ば、「新聞」の割合が約1割となっています。また、男女ともに若い人ほど「インターネット」の割合が高くなっており、年齢層に応じた情報提供が必要です。

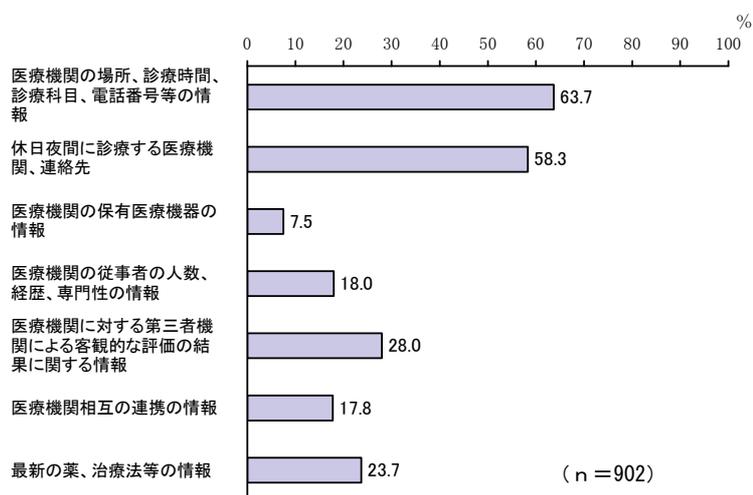
【病気や医療に関する情報の主な入手手段（上位3項目）】



資料：保健医療に関する意識調査

- 市民向けアンケート調査結果によると、病気や医療に関して、必要な情報としては、「医療機関の場所、診療時間、診療科目、電話番号等の情報」の割合が6割以上と最も高く、次いで「休日夜間に診療する医療機関、連絡先」の割合が5割を超えています。

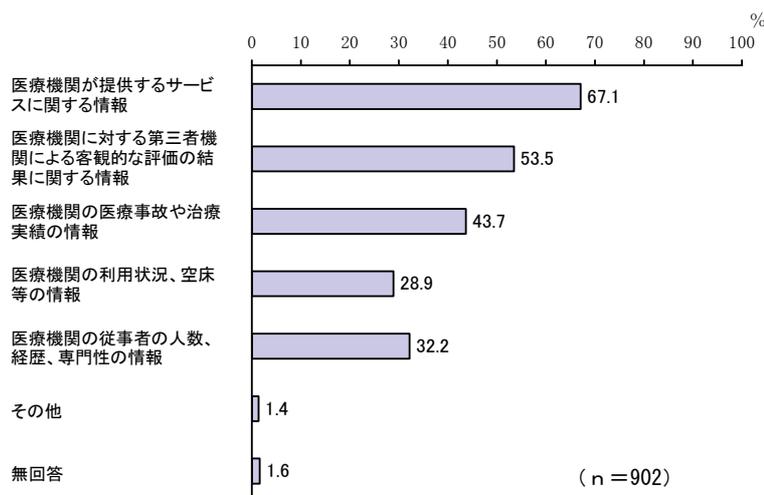
【病気や医療に関して、必要な情報（複数回答）】



資料：保健医療に関する意識調査

- 市民向けアンケート結果によると、医療に関するサービスを選択する際に、必要な情報としては「医療機関が提供するサービスに関する情報」の割合が6割を超えて最も高く、次いで「医療機関に対する第三者機関による客観的な評価の結果に関する情報」の割合が5割を超えています。

【医療に関するサービスを選択する際に、必要な情報（複数回答）】



資料：保健医療に関する意識調査



